

## 令和2年度 学校評価書

### 岐阜市立岩野田中学校

市の重点項目	学校の重点項目	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
<p>全職員や地域コミュニティとの協働による積極的な指導体制を確立し、「チームとしての学校」を実現する</p>	<p>地域オリエンテーリングや職場体験などの実施を通して、地域で生きるという実感を味わうとともに地域が育てる体験活動を推進する。</p> <hr/> <p>管理職・いじめ対策監を中心として、よりよい人間関係を育む指導体制を確立する。</p>	<p>コロナ禍で、地域との協働活動は十分に行うことができなかった。1年生防災学習の地域探検など、コロナ禍でもできることを考え行った。</p> <hr/> <p>年3回の「心のアンケート」を実施し、生徒の悩みに素早く組織で対応することができた。いじめ事案にも、即対応することができた。生徒会主催の取り組みなど生徒の思いを広めることで、いじめ防止や人間関係づくりを育む意識を向上できた。</p>	<p>○コミュニティバスのネーミング募集では、多くの提出をしていただく等、地域に関心をもっていた。ありがとうございます。</p> <p>○地域での職場体験等から地域で生きる、役に立つといったこと等を感じてもらえるようになったら素晴らしい。</p> <hr/> <p>○積極的にいじめ対策にあたっていると思われる。</p> <p>○専任の担当者がいるのは素晴らしいです。</p>	<p>地域の方をはじめ、いろいろな人と関わることは、生徒たちの成長に大きな糧になると考えている。地域行事への生徒の参加、学校行事への地域の方々の参加を今後も推進していく。</p> <hr/> <p>教科や行事、日常の取り組みを通して、自己理解や他者理解を深め、よりよい人間関係を育む力を身につけさせていく。組織で対応することの必要さを職員で共通理解するよう働きかけていきたい。</p>
<p>学習指導要領の趣旨を十分に踏まえた社会に開かれた教育課程を編成・実施・評価し、教育効果の最大化を図る</p>	<p>「自分の考えをもつ」「学びを活かした表現の工夫」を通して、主体的・対話的に学ぶ姿勢づくりを行う。(アゴラ教室・タブレット端末の活用)</p> <hr/> <p>オンライン学習の職員の研修を行うとともに、積極的にICTを活用した学習を取り入れる。</p>	<p>研究推進委員会を中心に、「自分の考えをもつ」「学びを活かした表現の工夫」を全職員で取り組むことができた。生徒の中にも「アウトプット」がキーワードとして定着している。</p> <hr/> <p>タブレット学習導入委員会を立ち上げ、オンライン授業や日常の授業内での活用に向けて、職員のスキルをあげることができた。それによって、タブレット端末を有効に活用する場面が増えた。</p>	<p>○個々人のもつ優れた物を伸ばせるような教育を期待したい。</p> <p>○個々の性格等を大事にして、より大きな創造性を目指す。</p> <p>○自分の考えをもち、意見を話すことは日本の教育で遅れていたことなのでとても良い。</p> <hr/> <p>○タブレット端末が全生徒に配布されたようで、GIGA SCHOOLに向けて活用を図ってほしい。</p> <p>○現代に見合った教育法を取り入れることが必要。</p> <p>●折角タブレット端末を配布してもらえたので、もう少し幅広い場面で役立てるとよいと思う。</p>	<p>学力の向上は、学校の重点課題の一つである。自分の考えを深めるためや、学びによって得た知識や技能をさらに深めるために、表現する場の設定を工夫し、「思考力」「判断力」「表現力」を育てていく。新学習指導要領の実施に伴い授業の見直しを進める。</p> <hr/> <p>タブレット端末を活用して多様な学びに生かしていくことは、今後必要不可欠である。日常の教育活動の中にタブレット端末を取り入れていくようにしたい。</p>

## 令和2年度 学校評価書

### 岐阜市立岩野田中学校

市の重点項目	学校の重点項目	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
<p>幼保小連携や小中一貫の考えのもと、ソーシャルキャピタルを活用した学校づくりを推進する</p>	<p>学習活動の中で仲間との関わりを大切に「聞く・話す姿勢づくり」を通して、小中一貫で活動を推進する。</p> <hr/> <p>学校だより、学校のホームページなどで行事予定や生徒の様子を地域に発信する。</p>	<p>入学説明会では、1年生の学校紹介動画等によって、中学校の様子を校区の6年生に伝えることができた。異年齢の交流を行うことで、双方にとって価値のある活動になった。</p> <hr/> <p>学校だより「自ら動く」や学校ホームページで、行事予定や生徒の様子を発信し、地域・家庭への話題提供をすることができた。</p>	<p>○聞く力、話す力をつけることはとても重要。小中一貫でというのはとても良いです。 ●小学校と中学校でもう少し交流があるとよいです。</p> <hr/> <p>○学校へ行く機会がなくなった今こそ、ホームページを充実させる機会だと思います。動画もあるとよいです。 ○ホームページで学校の様子がよくわかる。 ○地域と関わるためには、学校の様子を発信してもらえればGOODです。</p>	<p>小中の子ども達交流する場合は、入学説明会や学童記録会合同練習、地域行事参加時しかないが、「岩野田中校区の子ども達をともに育てる。」という姿勢を大切に、3校の連携を今後も継続していく。</p> <hr/> <p>ホームページがリニューアルされパスワードが必要になったことで、ホームページを見ることから遠のいたという保護者の意見もあるが、学校の様子を発信していくことは大切である。継続して、学校だよりやホームページを利用して学校の様子を発信していく。</p>
<p>教育環境と学校財務環境を整備・管理し、有効に運用する</p>	<p>生徒にとって必要な掲示の内容を精選するなど、学習に落ち着いて向かう環境を作る。</p> <hr/> <p>財務や納入金を適切かつ有効に運用できるように努める。(保護者への説明責任をはたす。)</p>	<p>昨年度に続いて、学校環境衛生の優秀活動校に選ばれた。生徒の安全を確保するためスピード感のある修繕・修理を行った。不要なものは撤去することで整った学習環境を維持することができた。</p> <hr/> <p>事務職員が会計を担当する職員と連携を適宜行い、適切な会計処理が行われるよう確認体制を整備した。</p>	<p>○中学生らしく落ち着いて大変良い。 ○学習に集中できれば、落ち着いていようが、興奮していようがOK。興味が重要。 ●いろいろな方向から物事を見るようなことも考えてほしい。</p> <hr/> <p>○問題なく運用されていると思います。 ○複数の目で見ていただきたい。</p>	<p>子ども達が安心・安全に活動できる環境づくりに今後も努める。 校舎内外施設の老朽化もあるため、日常から安全管理への意識を高めていく。</p> <hr/> <p>事務職員・教頭・校長が適切に運用されているかチェックする体制を継続する。</p>

## 令和2年度 学校評価書

### 岐阜市立岩野田中学校

市の重点項目	学校の重点項目	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
<p>災害や事故等、多種多様な非常事態に対する安全性の確保をする</p>	<p>安全な学校施設を基盤に、「新型コロナウイルス感染症」の感染防止対策に重点を置き、学校の新しい生活様式を構築する。</p> <hr/> <p>自ら生命を守ろうとする意識を育てるための知識や方途を学ぶ場を設定する。 ・命を守る訓練 ・防災学習</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に全職員が共通理解のもと、組織として取り組むことができた。生徒への指導や働きかけを行うことができた。</p> <hr/> <p>「体育館が避難所になったら」を想定した防災学習では、避難所開設シミュレーションを行うことができた。命を守る訓練を、学校の実情に合わせた内容になるよう工夫することができた。</p>	<p>学校関係者評価委員会から</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対応という大変な経験をしています。対応の仕方、経験がきっと役に立つ。(生徒も先生も) ●また同様なことが起きたときのために、新システム(対応の仕方)を構築すべきである。</p> <hr/> <p>○防災訓練、防災教育に積極的に取り組んでいただいている。 ○生命の尊さについては、様々な方向の知識を得られる場を設定する。 ●地域の防災訓練等、中学生が参加しやすい場を作ってやるとよい。(自治会へのお願い)</p>	<p>改善の方向</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策は、引き続き継続して行う。ガイドラインをもとに全職員・全生徒の共通理解を大切にしていきたい。 「新型コロナウイルス感染症への対応から学ぶ」という視点で新しい生活様式を考えていく。</p> <hr/> <p>災害や事故等から、自分の命を守る知識や方途の学習は、今後も継続していく。岩野田地域の特性から、土砂災害や浸水害への危機管理意識を高めていきたい。 事故等から自分の身を守るための、ルールやマナーの指導は、日常的に継続していく。家庭での声かけも重要である。家庭への働きかけも工夫したい。</p>